

クラフトフェアを終えて

「作り手」が心を込めて作り出した物には、手に馴染む、染み入るような心地よさがある。

けれど、そのような「本物」に出会う機会はあまりない。

クラフトフェアまつもとは 数少ない機会の一つであると思う。

それはきっと 1985 年から続く歴史、応援してくださる「使い手」の皆様、運営スタッフの方々による努力の賜物であると思う。

奇しくも自分は同じ年である。

クラフトフェアまつもとのように歴史を紡ぎ、「本物」を作れる「作り手」になりたいと改めて覚悟した。

運営スタッフの皆様、大切な場をありがとうございます。

studio iiro 大東 健太

